

1. 会社の沿革

株式会社神戸製鋼所は、1905年に合名会社鈴木商店の神戸製鋼所として神戸市に創業し、その後1911年に鈴木商店より分離独立して株式会社神戸製鋼所が設立しました。

2016年度から5ヶ年の「グループ新中期経営計画」では、素材系事業、機械系事業、そして電力事業を3本柱とした複合企業体として幅広く事業を展開し、付加価値を高めてさらに事業を拡大・発展させるとともに、社会への貢献を目指しております。

2. 会社の概要

会社名 株式会社神戸製鋼所

創立 1905年9月1日

資本金 2,509億円(2016年3月31日現在)

連結売上高 18,228億円(2016年3月期)

本社 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2-2-4

代表取締役会長兼社長 川崎 博也



3. 主な鉄道向けアルミ製品の概略

① 押出材

アルミ押出材を製造する長府製造所(山口県下関市)は、国内最大級の大型押出プレスと長尺に対応可能な熱



押出形材
(ダブルスキン鋼体)

処理炉を有しており、車輦1両分にあたる最大25Mまでの押出材を製造することが可能です。200系新幹線を皮切りに、ほとんどの新幹線車輦ボディに採用される他、多くの実績を有します。また最近では海外向け軽量高速車輦用ボディ素材も製造しています。

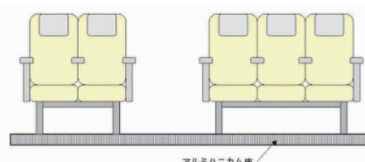
② 鋳造・鍛造品

アルミ・マグネシウム鋳鍛造品を製造する大安工場(三重県いなべ市)では、4台の油

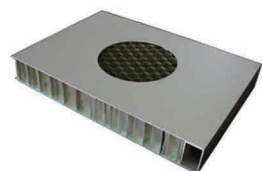
圧鍛造プレスを持つ油圧鍛造部門、航空機向けで培った複雑鋳物製造技術を有する砂型鋳造部門、顧客ニーズに応じて溶接・完成加工・表面処理まで対応する機械加工の3部門を擁し、幅広い分野の多品種少量生産ニーズに対応しています。鉄道車両では、高速化での軽量化ニーズにお応えし、台車部品を中心に高品質な鋳鍛製品を供給しています。

③ アルミハニカムパネル、及び加工品

神鋼ノース(株)(茨城県かすみがうら市)は、神戸製鋼グループのアルミ加工品メーカーとして、創業以来半世紀にわたり培ってきた技術力と実績を原動力に、各分野で注目を浴びているハニカムパネル製品、アルミ加工品、精密切削加工品を柱に、製販一体体制のもと幅広い分野に製品を供給しています。アルミハニカムパネルは、アルミ板とアルミハニカムコアを構造用接着剤で接合した複合接着パネルで、



軽量・高剛性の特徴を活かし新幹線用床パネルに採用されています。また、荷棚やルーバーでは、ユニット化や軽量化、さらに人に優しいデザインの開発に取り組んでいます。



神鋼ノース(株)
アルミハニカムパネル

4. おわりに

これからも神戸製鋼グループ一体となり、各種アルミ素材から加工品まで「特徴ある製品・技術の創出」と「ものづくり力」の強化を目指し、独自の付加価値ある製品の提供を続けて参ります。

【株式会社神戸製鋼所 東京本社 秘書広報部】